

会員数 435
男 349
女 86
28. 7. 1現在

会員の皆様へ 事務局だより

第65号 28. 7. 11発行

公益社団法人
香芝市シルバー人材
センター事務局
TEL 79-6601
FAX 79-6671

《Kashibashi Silver Human Resources Center Association》

第二十八回定時総会が開催されました

当センターの第28回定時総会が5月30日、香芝市ふたかみ文化センターで、香芝市長並びに市議会議長の出席を頂き、盛大に開催されました。当日の会員数は、434人で、この内、総会に出席された会員は、71人で委任状を提出された会員さんは241人でした。

総会是有山和代理事の「開会の言葉」に続いて、杵村喜芳理事長より挨拶がありました。

理事長は、『皆さん改めましてこんにちは、「目に青葉、山ほととぎす、初鰹」これは江戸時代の俳人「山口素堂」がこの時期に読んだ詩であります。五月の新緑ほど、私たちに命のエネルギーを



与えてくれるものはありません。本日この時期に公益社団法人香芝市シルバー人材センターの第28回定時総会を開催するに当たりまして皆さん方には、お忙しい中お集まりを頂きまして本当に有難うございます。また香芝

市よりは、来月、吉田市政として第2期目のスタートを切られます。吉田弘明市長様はじめ、市議会からは細井宏純議長様に、公私ご多忙の中、まげてご出席頂き本総会に華を添えていただきましたこと高座からでございますが厚く御礼申し上げます。

さて先月の14日、16日に起きました熊本大地震で被害を受けられた方々には、心よりお見舞いを皆さんと共に申し上げます次第でございます。シルバーの推進目標の一つであり、お互いに助け合う共助の精神で義援金の募金に早速本日協力していただいている事に、厚く御礼を申し上げます。

今日の熊本県の震災を他山の石として、しっかりと危機管理体制の意識を持ち、対応できる準備をまず家庭からしっかりとしないかなければならないと思つたわけでございます。そして早く熊本県の余震が収まることを願うと共に国や県の復興対策が、一日でも早く被害者の為になることを願わずにはいられないわけがあります。

今、日本人の4人にひとりが65歳以上、そして8人にひとりが75歳以上という超高齢化社会であり、日本の長寿社会を表す人口状況であります。このことによって国は誰もが輝く社会の実現を目指すということ、日本一億総活躍プランを作成し、我々のシルバー人材センターにも雇用保険の適用年齢の見直

◆ 働く喜びと社会参加の輪を拡げよう ◆ 自主・自立・共働・共助 ◆ 安全就業

し、そして就労時間の上限を派遣や職業紹介に限り、週20時間から40時間に引き上げる、そして清掃や駐車場管理に偏り勝ちだった職場を、人手不足のサービスや事務などに広がることを私たちは期待するわけでありませう。よってこのような高齢者が増え、働く場が広がる中、シルバー人材の存在そして役割が益々大きくなってきているわけでありませう。

そのような中、今年も厳しい財政の中、シルバー事業に対しまして最大限のご理解を頂いております。香芝市そして国からも支援としての補助金の交付を頂いております。ことにまず感謝をし、これに相應の支援に相應するために何を成すべきかと考えたときに、会員一人ひとりの事業への取り組み、事業への熱意、そして誠意ある長年の取り組みが、地域から愛され信頼されるセンターとして、地域に貢献するセンターとしての実績を積み重ねてきて頂いたそれらの全てのこと支援に相應しているものと、そのことを思い、改めて私は多くの会員の皆様方に、また先輩会員に敬意を表するものでございます。

お陰様でシルバーの事業は地域の高齢者の活動を支える不可欠な存在となり、年々その重要性は増しています。しかし、

シルバー人材センターの運営につきましてもこれからいろいろな課題がございます。まず会員の減少であります。これは全国的な傾向でありますけれども、65歳までの定年延長が影響していると考えられます。そして、請負から派遣への切り替えの指導もございます。そして新たな新規事業への取り組みを展開していくためには、やはり新会員の勧誘と拡充が重要であります。特に今年には女性の働く場が増えてくるのではないかと予想されます。女性会員の獲得も一緒に進めて行かなければなりません。そして今後もより地域に認められ、無くてならないセンターとして、職員共々地域のために、また会員皆様の一億総活躍社会実現に向けた就業機会の確保、そして拡大に向けての取り組み、事業展開を進めていく所存でございます。会員皆様のさらなるご支援とご協力を、お願いする次第でございます。』と述べられました。

続いて、ご臨席を頂いた吉田弘明市長から祝辞を頂きました。市長は、『日頃は杵村理事長はじめ役員の皆様方、そして会員の皆様方には「自主・自立・共働・共助」といった理念のもと、高齢者の働き甲斐、そして地域の発展にご協力を賜わっていますことを、高壇からですが改めて

御礼申し上げたいと思ひます、本当に有難うございます。

さて、日本は今、少子高齢化や、労働力の不足、そして女性の進出や高齢者に現役で働いていただくというお話がよく出ています。私は最近、日本の力が少し弱くなってきたのではないかと、思うわけでありませう。今まで高齢者の方々の力をお借りする借り方が、うまく機能していなかった。55歳ぐらいの定年の時代が有りましたけれども、60歳定年ということでも、全く現場から離れていく。結果、特に物造りの電気産業や物造りの会社の力が、日本の屋台骨として弱くなっている。その結果、発明とか技術者が中国や台湾や韓国やシンガポールに行ってしまった。日本の産業は少し弱くなってきた。今高齢者を取り巻く環境というものは、ニュースを見ても、あまり良い話題がありません。年金の支給が少しずれたり。また、年齢を引き上げられたり。医療費の負担を増やされたり。認知症や孤独死の問題など、そういうお話が多いです。私は市長という仕事柄、香芝市を取り巻く色々な団体の方々とお話をしますが、皆さんお元気です。高齢者の方々を中心としたシルバー人材センターは、まさに働き甲斐そして仲間づくり、生き甲斐、そういった

ことが全て集約されている団体だと思っ
ています。アベノミクスでは、これからも
誰もが元気で暮らしていける一億総活躍
と云われていますが、香芝市は7万8千人
総活躍の街にしていきたいと思っており
ますので、今後も変わらず皆さんのご協
力をお願い申し上げたいと思います。」と
述べられました。

続いて、ご臨席を頂いた細井宏純議長
から祝辞を頂きました。議長は、『本日は
第28回香芝市シルバー人材センター定時
総会が開催されますことを心よりお慶び
申し上げます。本市のシルバー人材セン
ターは、昨年度末会員数421名と報告
を受けております。この皆様方は、以前か
ら培われました技術や知識、また定年退
職後に新たに技術を習得されて、色々な
仕事をされているとお聞きいたしており
ます。今まで香芝市も若い町、人口の増え
続ける町として対外的にアピールして参
りましたが、近隣の市町村同様、徐々に
はありますが高齢化も進んでおります。
その中で、このシルバー人材センターの
位置づけは今後の香芝市の高齢者の就業
の拠点として、重要な位置付けがなされ
ております。今後とも皆様のご活躍を期
待申し上げているわけでございます。ま
た、高齢の方々が生き甲斐を持って活躍

できる社会、活力ある香芝市の創成のた
めには、皆様方の日ごろの努力も期待い
たしておるわけでございます。』と祝辞を
頂きました。

続いて議長に船木克容理事が選任され、
議事録署名人(2名)の選任の後、本総会
に提出した議案の審議に入りました。

まず、第1号議案 平成27年度収支補正
予算及び、第2号議案 平成27年度事業
報告と、第3号議案 平成27年度収支決
算報告について審議されました。

平成27年度収支決算では、仕事の受注
契約金額は1億7,685万円、うち会員
に支払った配分金は1億3,773万円、
センターから仕事の提供を受け就業した
会員は349人(就業率82.9%)等の
事業実績の報告があり、いずれも原案ど
おり承認をいただきました。

続いて第4号議案 会費規程の一部改
正について審議され、事務局より改正の理
由として「現行の年会費1,200円は会
員のシルバー保険の額にも満たない金額
であり、事務所経費等を含めると大幅な
赤字となるため、近隣のセンターでの年
会費を参考に、平成29年度から年会費を
2,000円に改定させていただくもの
です。」と、説明があり、会場からは異議
や質問等は無く、原案どおり承認されま

した。

次に第5号議案 役員を選任について
を議題とし、理事13名及び監事2名の候
補者が提案され、第5号議案は、議決承認
されました。

続いて第6号議案 理事長に対する権
限委任についても承認を頂き、すべての
議事が終了し、長田ミツ子理事の「閉会の
ことば」で総会は閉会しました。

総会終了後、健康に関する講演会が行
われました。講演の内容につきましては、
「安全号」に掲載しております。

◎理事会の開催状況

☆第1回通常理事会(4月28日)

- ① 第1号議案 正会員入会申込者の承
認について
入会申込者数6名(男7・女0)
- ② 第2号議案 平成27年度収支補正予
算(第4回決算前)案について
- ③ 第3号議案 平成27年度事業報告に
ついて
- ④ 第4号議案 平成27年度収支決算報
告について
- ⑤ 第5号議案 平成27年度監査報告に
ついて
- ⑥ 第6号議案 役員を選任について
- ⑦ 第7号議案 理事長に対する権限委

任について

⑧第8号議案 第28回定時総会の招集の手続き等について

いずれも議決・承認されました。

☆第2回通常理事会（5月30日）

①第1号議案 正会員入会申込者の承認について

入会申込者数3名（男3・女0）

正会員入会申込者全員の入会を承認されました。

☆第1回臨時理事会（5月30日）

①第1号議案 理事長（代表者理事）の互選について

②第2号議案 常務理事（業務執行理事）の互選について

審議の結果、理事長には枚村喜芳氏、常務理事には森田庄一氏が選任されました。

☆第3回通常理事会（6月27日）

①第1号議案 正会員入会申込者の承認について

入会申込者数2名（男2・女0）

②第2号議案 公益社団法人香芝市シルバー人材センター会費規程による会員の会費免除について

《植木剪定作業中の事故により、意識不明の重体となり、現在も意識不明状態が続いている会員の、会費免除

を行うもの》

③第3号議案 会計処理規程及び事務規程に基づく会計関係書類及び文書等の破棄処分について

《会計関係書類及び文書等について、その種類及び保存年数の定めに基づき、廃棄処分を行う》

審議の結果、いずれも議決承認されました。

◎役員を選任について

当センター役員任期満了に伴い、第28回定時総会において、理事13名と監事2名の方が選任されました。役員の方々は、次のとおりです。

役職	氏名	備考
理事長	枚村 喜芳	重任
理事	有山 和代	重任
理事	濱西 利昭	重任
理事	松原 秀典	重任
理事	村中 義男	重任
理事	吉田 治	重任
理事	平井 光男	重任
理事	船木 克容	重任
理事	出井 基温	重任
理事	別府 后	重任
理事	長田ミツ子	重任
理事	鳴神 清文	重任
理事	森田 庄一	再任
監事	上田 常彦	重任
監事	辻本 勝茂	重任

◎毛筆筆耕講習会（技能講習会）

・開催日 平成28年10月5日
・開催時間 毎週「水曜日」開催（計15回）
・時間 午前10時～午後3時

・場所 当センター会議室

・定員 15名程度

・申込み 8月31日（水）まで

・前回受講された方も参加できます。

《熊本地震災義援金のお礼と報告》

平成28年熊本地震により被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

この度の震災において、被災された現地の方々への支援を目的とした募金活動を当センターで実施いたしました。

活動にあたり、健康関連の講演をいただいた柴田修先生をはじめ、多くの皆様より心温まるご支援をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

今回の募金活動について下記のとおりご報告いたします。

【義援金の募集期間】平成28年5月2日（月）～6月27日（月）

【最終募金額】61,300円

お預かりいたしました募金は、すべて、香芝市を通じて日本赤十字社に送られ、現地での復興活動の支援にあてられます。

◎事務局からのお願い

当センター会費規程により、平成28年度会費（1,200円）は、本年4月末日までに納めて頂くことになっております。

会費未納の方は、古い会員証とともに、至急に事務局までご持参下さい。

◆仕事中に、事故や急病など緊急事態が起きたときは、直ちにセンター事務局へ連絡してください。

《センター事務局 79-6601》